

西彼保健所感染症情報

令和7年 第 40 週 令和7年9月29日 ~ 令和7年10月5日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報: 診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第40週】百日咳 患者3名 (10代未満・女性、10代・男性2名)

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加 ↑↑;2週連続増加 ↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	39 週	40 週	開始	終息			39 週	40 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.80	0.20	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.00			
COVID-19	4.40	6.00 ↑				ヘルパンギーナ	0.33 ↑	0.33	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	81.00 ↑	70.00				流行性耳下腺炎	0.67 ↑	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	1.67 ↑	0.33				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.33	0.00	3	1		流行性角結膜炎	5.00 警報	1.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00 ↑	2.00	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	9.00 ↑	4.33	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.33	0.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	2.00 ↑↑	0.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	3.67 警報	3.33 警報	2	1		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

インフルエンザ情報

管内におけるインフルエンザの流行期は第39週より脱しています。

呼吸器感染症に注意しましょう



インフルエンザの流行期は脱していますが、COVID-19は前週より増加しており、百日咳の報告も3例ありました。また、「学校等欠席者・感染症情報システム」によるとマイコプラズマ肺炎の報告が多く見受けられます。

【感染予防対策】

●咳エチケット

マスクを着用する場合は鼻と口にしっかりフィットさせた状態で着用しましょう。くしゃみや咳だけでなく、普段の会話でも飛沫(しぶき)が飛びます。食事などのマスクを外す場面以外では可能な限りマスクを着用することを推奨します。

●手指衛生

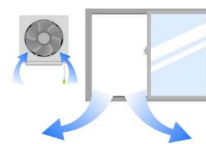
人は無意識に顔を触ることが多く、気づかないうちに鼻や口などの粘膜にウイルスをつけてしまいます。手洗いを徹底しましょう。手洗いがすぐにできない場合は、消毒用エタノールを使った手指消毒も効果的ですが、一部の病原体には効果が弱いものもありますので注意が必要です。

●換気

換気は1時間に2回以上が効果的です。必ずしも窓を開けての換気が必要なわけではありません。換気扇などの機械設備を活用し、効果的な換気を心がけましょう。

●免疫力の向上

日頃からバランスの良い食事や十分な休養をとり、体調を整えることも大切です。



マイコプラズマ肺炎とは「肺炎マイコプラズマ (Mycoplasma pneumoniae)」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2〜3週間くらいとされています。主な症状は発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます(せきは少し遅れて始まることもあります)。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3〜4週間)続くのが特徴です。